

親愛なるお客様

あけましておめでとうございます。

エアバス・ヘリコプターズを代表して謹んで新年のお祝いを申し上げます。

また、この度の能登半島地震により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

私が昨年7月に日本に着任して初めての新年を迎えました。着任後最初の数か月間は学びの日々であり、日本のオペレーター様の素晴らしさと、非常に重要かつ困難な業務に従事されていることを知りました。また、世界でもあまり類を見ないほど高性能な機材を多く搭載して機体を運用されていることを大変興味深く思います。

現在航空業界全体に影響を及ぼしているインフレ、一部装備品などの不足が日本にも影響を及ぼしていることも認識いたしました。引き続き2024年も皆様の運航への影響を可能な限り軽減できるよう取り組んでまいります。

しかし、そのような要因を理由に現状に甘んじるわけにはいきません。弊社は2023年に2年に1度の顧客満足度調査を実施いたしました。日本では100名を超えるお客様より貴重かつ率直なご意見をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。

皆様より頂戴しましたご評価とご意見をもとに改善案を策定いたしました。特に日本では『コミュニケーション』、『部品』、『整備・修理』、『コンポーネントのR&O』および『AirbusWorld』を改善すべき5つの領域と位置づけ、2024年に改善に取り組んでまいります。

本ニュースレターでは他にも2024年度のマニュアルサービス更新、訓練コースの設定、航空安全にかかわる啓蒙活動をご紹介しますので、ぜひご一読ください。またお気軽に担当者にご連絡ください。

本年もより一層のサポート・サービスをご提供できるようエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンおよびエアバスグループ社員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。
本年もよろしくお願いいたします。

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社
最高執行責任者・社長 ジャン・ルック・アルフォンシ



最高執行責任者・社長 ジャン・ルック・アルフォンシ

CONTENTS

製品 / PRODUCT

エアバス・ヘリコプターズとPHI、
H175 x 20機とH160 x 8機を契約

サービス / SERVICE

2023年顧客満足度アンケート結果および今後の改善について
2024年度マニュアルサービス更新のお申込み

飛行の未来 / PIONEERING

日本におけるエアバスグループ、
チャイコモウオーク参加者に神戸空港事業所を開放

訓練 / TRAINING

2024年度 設定訓練コース

航空安全 / AVIATION SAFETY

1. 安全推進活動
2. ヘリコプターの安全情報

インフォメーション / INFORMATION

ご意見募集

エアバス・ヘリコプターズとPHI H175x20機とH160x8機を契約



エアバス・ヘリコプターズとPHIグループ (PHI) は、米国を含む世界中のエネルギー市場に対応するため、スーパーミディアムH175ヘリコプター20機とH160ヘリコプター8機の確定注文を含む枠組み契約を締結しました。これら28機の最新鋭ヘリコプターにより、PHIはエネルギー市場で拡大が見込まれるオフショア輸送ニーズへの対応を強化します。本契約は、確定注文とPHIが枠組み契約期間中に行使できる購入オプションで構成されています。

「PHIは、最も安全で信頼性の高いヘリコプターの運航で業界をリードするよう努めています。この契約は、長年にわたる投資不足の後、力強い回復を経

験した業界に新しい技術を導入するという当社の広範な戦略の一部です。我々は、エアバスとの継続的なパートナーシップにより、これらの航空機を世界中の顧客に提供できることを楽しみにしています」とPHIグループのScott McCarty CEOは話しています。

「PHIは、革新性と安全性におけるリーダーシップで業界内でも認められた企業であり、PHIとの継続的なパートナーシップを誇りに思います。H160への信頼を新たにし、また長距離ミッション用にH175を増加するフリートに加えてくれたことに感謝します。乗客の安全性、経済的競争力、エネルギー効率があらゆる市場を制覇するための鍵となる現在、H160とH175は、今後数年間にわたり信頼できる選択肢であり、世界中で彼らの運航をサポートすることを楽しみにしています」と、エアバス・ヘリコプターズのBruno Even CEOは話しています。

PHIは74年にわたりエネルギー産業をサポートしてきました。現在、PHIは世界中で200機以上のヘリコプターを運航し、エネルギーや航空医療を含む多くの市場でサービスを提供しています。PHIが保有するエアバス製のヘリコプターは、H125、H135、H145、H160、最新型H175ファミリーで構成されています。

2015年から就航しているエアバスのH175は、スーパーミディアムクラスに属し、長距離飛行とスムーズな飛行特性を兼ね備え、オフショアでの作業員交代、公共サービス、プライベートおよびビジネス向けに最適なソリューションとなっています。現在就航している54機のH175は、約19.5万飛行時間を記録しており、このうち17万時間はエネルギー市場で使用されています。

一方、幅広い任務に対応できるマルチロール・ヘリコプターとして設計されたH160には、エアバスの最新の技術革新が組み込まれています。ライト・メンテナンス・プランにより、H160は運用コストを最適化し、機体稼働率において新たな基準を提供しています。このヘリコプターは、燃料消費を15%削減するサフラン・ヘリコプター・エンジンズ社製の最新型Arranoエンジンを2基搭載しています。また、H175とH160はすでに50%の持続可能な航空燃料 (SAF) で飛行できることが証明されています。

2023年顧客満足度アンケート結果および今後の改善について

2023年5月9日より7月31日まで、2年に1度の顧客満足度アンケートを実施いたしました。全世界1,500以上のお客様から全ての機種に関して、従来以上、特に防衛関係からの参加も含め様々なご意見やご回答をいただきました。日本においては100名を超える多くのお客様より貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

1. 日本における改善活動

お客様のご評価と貴重なご意見をもとに、2024年の改善策を策定いたしました。以下の5点が、特に日本のお客様が重要とされ、改善が急務となっている事項です。弊社では、各テーマでプロジェクトを立ち上げ、それぞれの事項について、改善の取り組みを実施してまいります。

2024年お客様満足度向上のための改善内容

内 容	改 善 目 標
1. コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> お客様への迅速な情報提供 お客様との密な連絡体制の強化
2. 部品	<ul style="list-style-type: none"> 部品供給体制の強化 eOrderingの開始（オンラインでの見積・発注・配送状況追跡）
3. 整備・修理	<ul style="list-style-type: none"> ご希望納期内納入体制の強化
4. コンポーネントのR&O	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネントの在庫強化 倉庫管理の強化
5. AirbusWorld（技術図書）	<ul style="list-style-type: none"> お客様を訪問し使用方法及び新機能をご紹介

お客様のご満足度向上に向け、日々改善の取り組みについて全社を挙げて取り組んでまいります。

2. 全世界の改善活動

エアバス・ヘリコプターズでは、お客様からのフィードバック内容を分析し、ご指摘事項改善策を検討しております。グループ全体での着手すべき改善計画の概要は以下の通りです。

部品アベイラビリティの改善：動力システム用部品製造を60%増加（外注先での製造も35%増加）

- 在庫への投資（2019年の在庫レベルから4億EUR（640億円相当）を増加）
- 重要ベンダーをグループに統合（ZFL、Aubert & Duva等）
- サプライソースの二重化、中古機を購入しパーツアウト、製造プロセス最適化や資金サポート等サプライヤーへの支援提供
- ベンダーとの関係強化

整備・修理、生産リードタイムの短縮

- ダイナミックコンポーネント、装備品、ブレードの修理納期目標：2024年、2025年10%ずつ短縮
- 時間契約（PBH等）の納期オンタイムデリバリー目標：2024年90%、2025年95%

AOGサポートの強化

- 全世界で在庫アイテムを増加(フランス・ドイツ・アメリカで12,000品目)、2024年第1四半期に日本のお客様の拠点である香港で3,500部品を増加予定
- 情報提供の強化
- AOG部品納品加速に向けたロジスティクス体制の強化
- スタンダード・エクスチェンジ在庫レベルと在庫場所の変更

お客様との関係強化、お客様窓口のコミュニケーション

- お客様窓口担当者向け訓練の実施
- お客様の日々の運航サポート体制の強化
- お客様にご提供する情報(未納部品、修理品の納期、見積提出までの期間、ワランティ対応状況等)の精度の向上
- 同等部品の価格整合性の向上
- 部品輸送状況追跡システムの導入
- 各種デジタルツールの使用方法のご説明
- 遠隔からもアクセス可能な革新的訓練ソリューションの計画
- H125VRシミュレーターのEASA認証取得(Marignaneの訓練センター、2024年第1四半期取得)

AirbusWorld、技術図書の標準化と改善、技術的問い合わせの改善

- SB様式を含む各種技術図書のデザイン改善
- TE(Technical Request、技術的問い合わせ)について、状況モニター、追跡の改善
- AirbusWorldの見やすさ、使いやすさの改善
- ORION Offline(オフラインで使用可能な技術図書検索システム)の導入

また、アジア・パシフィック地域においては、定期訪問、フォローアップにより、より密にコミュニケーションを取りお客様との関係強化に注力してまいります。

お客様のご満足度向上に向け、日々改善の取り組みについて全社を挙げて取り組んでまいります。今後とも引き続き、ニュースレターにて、あるいは営業、カスタマーサポート部担当者経由で改善状況をご報告してまいります。

【お問合せ先】

顧客満足担当 小野寺 (03-6871-8218)

2024年度マニュアルサービス更新のお申込み

2月1日より、マニュアルサービス更新の申し込み受付を開始します。

4月以降も引き続き最新のマニュアルをご利用いただきたく、2月22日(木)までにお申し込み手続きをお願いいたします。

更新に際し、現在紙媒体をご利用のお客様には、オンラインマニュアル(O.R.I.O.N)を推奨しております。オンラインマニュアルは無償で、最新のマニュアルと旧マニュアルにアクセスができ、差し替え作業が不要ですので、この機会に是非ご検討ください。紙媒体をご希望される場合は、1年または3年ごとの契約更新が可能です。3年契約では契約期間中に価格上昇がなく、1年ごとの契約更新を省くことができ、手続きが簡素化されますので、ご検討ください。

【お問合せ先】

ご契約・ご請求に関するお問合せ:カスタマーサポート部担当者

マニュアルに関するお問合せ:テクニカルサポート部 稗田 (078-386-3797)

日本におけるエアバスグループ、 チャイケモウォーク参加者に神戸空港事業所を開放

エアバスグループは、世界、そして地域社会の一員としての責任を認識し、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)にコミットしております。日本においては、これまでCSR(企業の社会的責任)委員会を中心に、海岸・河川等の清掃活動、次世代への航空業界に関する教育活動、貧困国への被服寄付等を実施してまいりました。

11月26日(日)、神戸市地域貢献を目的に、神戸チャイケモチャリティウォークにおいて、弊社ヘリコプター格納庫を一般開放しました。チャイケモ(チャイルド・ケモハウス)とは、神戸市ポートアイランドにある小児がん・難病のお子さんと家族の滞在施設です。当日は神戸市の各拠点でウォーキングスタンプラリーが行われ、弊社格納庫には300名の方々が来場し、実際にヘリコプターを見たり、パイロット服や整備士のつなぎを着て撮影をするなどして楽しい一日を過ごしていただきました。



【お問合せ先】

CSR委員長 小野寺 (03-6871-8218)

2024年度 設定訓練コース

2024年1月時点で予定されている2024年度の訓練コース空き状況をご案内いたします。ご興味のあるコースがありましたらお問い合わせをお願いします。(お申し込みには受講要件を満たしている必要がございます。また最少催行人数は2名となっておりますので、これを満たさない場合は訓練を実施しない場合がございます)

各コースとも、訓練開始までに空席がある場合、弊社社員が聴講生として参加する場合がございます(座学の最大受講人数は8名を基本としております)

■ 操縦士訓練

コース名		期間(日程は変更となる場合がございます)	受講要件	申込可能	備考
H160	型式限定変更座学訓練	学科：2024年4月15日～4月26日予定	A	○	(注1)
EC135	ガイドライン訓練 (T2+, P2+)	学科：2024年5月23日～5月31日予定 FFS：2024年6月10日～6月14日予定	A	○	
EC135	ガイドライン訓練 (Helionix機)	学科：2024年6月24日～7月3日予定 実機：別途相談	A	○	(注1) (注2)
H225	型式限定変更座学訓練	学科：2024年7月1日～7月12日予定	A	△	(注1)

受講要件:

A：有効な技能証明書と航空身体検査証明書および陸上多発タービン機の等級限定

(注1)：座学訓練終了後、お客様基地でお客様保有の機体を使用した実機訓練が必要となりますが、日程は別途ご相談となります。

(注2)：座学訓練のみ受講を希望される場合は別途お問い合わせください。

■ 整備士訓練

コース名		期間(日程は変更となる場合がございます)	受講要件	申込可能	備考
H125	OEM訓練	学科：2024年4月10日～4月19日予定 実技訓練：2024年4月22日～4月24日予定	B	△	(注1)
AS365N3+	一等航空整備士 OEM訓練 (座学+実技)	学科：2024年5月13日～5月31日予定 実技訓練：2024年6月3日～6月6日予定	C または D	○	(注3)
H225	型式限定変更座学訓練	学科：2024年6月3日～6月21日予定	C または D	○	(注3) (注4)
H135	ガイドライン訓練 (T3/P3まで)	学科：2024年6月24日～7月3日予定 実技訓練：2024年7月4日～7月10日予定 FFS試運転：1人当たり3回、2日想定、 日程は別途ご相談	B	△	(注2)

受講要件:

- A：回転翼航空機ライセンス又は同等の知識(6ヶ月以上の整備経験を有する)
- B：二等航空整備士(回)タービン機等級限定以上
- C：二等航空整備士(回)タービン機等級限定以上を所有かつ一等航空整備士学科試験に合格、有効期間内であること
- D：一等航空整備士(回)技能証明

- (注1): 座学訓練終了後、お客様基地でお客様保有の機体を使用した地上試運転を実施し、ガイドライン訓練として受講をご希望の場合は別途お問い合わせください。
- (注2): 座学訓練のみ受講を希望される場合は別途お問い合わせください。
- (注3): 座学訓練終了後、実地試験受験支援までの訓練をご希望の場合は別途お問い合わせください。
(口述対策訓練、お客様保有の機体を使用した訓練等)
- (注4): 座学訓練終了後、実地試験受験支援までの訓練をご希望の場合は実技訓練(フランスにて実施)が必要となりますので、別途お問い合わせください。



1. 安全推進活動

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンは、安全運航の確保に貢献すべく、引き続き関連省庁と連携した各種取り組みに積極的に参画しています。

また、航空安全ロードショー等(安全文化の醸成/ヒューマンファクターズ訓練/コンサルティング)を開催し、安全文化の醸成活動を推進しています。(右図参照)

航空安全ロードショー等の開催については、お客様のご要望等をお聞きしながら、計画及び開催をさせていただきます。

航空安全ロードショー等の開催実績(2023年12月末現在)

開催期間	N: 初回開催 R: 繰り返し開催 A/C: 各協会や各都市開催など W: Web会議 (回)		参加者数 (延べ人数)
2016~2023年	138	N: 54, R: 33, A/C: 24, W: 27	3,070

2. ヘリコプターの安全情報 (SAFETY PROMOTION NOTICEシリーズ)

エアバス・ヘリコプターズは、EASA Community Networkのメンバーとして安全推進活動を展開しており、過去に経験した事故やインシデント等に基づいた重要な教訓・安全情報等が、EASA Community Networkサイトの「[Safety-Topics A-Z](#)」にて紹介されております。

その中で、今回は、「[Landing at Unfamiliar Landing Sites \(馴染みのない場所への着陸\)](#)」について紹介させていただきます。

殆どのヘリコプターパイロットは優れた飛行計画の立案者ですが、ヘリパッドや高リスク/不慣れな場所へ着陸する場合には、危険な思い込みに注意する必要があります。個々人の生命、会社及び乗客を守るために綿密に計画を立てなければなりません。

また、正当に見えるマーキングのある着陸地点や位置情報を有する着陸地点であっても、「非常に危険な場所や立ち入り禁止場所になっている可能性がある」ということを認識しておくことは重要です。

着陸場所が初回である/馴染みが薄い、更には既に経験がある場合においても、着陸前に考慮すべきチェックリスト項目について紹介されています。

Permission (許可)

- 着陸許可はあるか?

(Prior Permission Required (PPR)又は事前の許可が必要と識別された着陸サイト:一般非公開されていない、又は立ち入り禁止の時間帯の設定あり)

- 着陸または離陸前に無線通信は必要か?
- 同意書や最低保険の必要条件はあるか?
(例外:緊急着陸が必要な緊急事態に遭遇した場合)

Obstacles (障害物)

- ヘリポート付近の障害物の特定と回避計画を策定すること
(アプローチ飛行経路に影響を与える可能性のあるすべての事、地上作業エリアの障害物)
- 適切な照明やマーク表示がない障害物、データベース等にリストアップされていない障害物に要注意

Markings (マーキング)

- 適切にマーキングされているヘリパッドの数字を理解すること
最大総重量?
ローターの最大直径を示す古いパッド、又は最大全長を示す記号「D」を使用する新しいパッド?
「H」の方向? (好ましい進入/出発経路?)

Hazards (ハザード)

潜在的なハザードの中で考慮すべき事項として

- 鳥の活動状況は?(鳥の排泄物と雨による滑りやすいコンディションではないか?)
- 着陸表面の状態は?(アスファルト:暑い天候下でのダイナミックロールオーバーの危険)
- はがれた石やその他のFOD要因は?
- 考慮すべき勾配は?
- 着陸前の準備の必要性?(放水、照明、車両の撤去等)
- 大気の状態は?(大気密度や風向によるパフォーマンスへの影響等)
- 規格外の照明、高い安全ネット、不安全なフェンス等の引っ掛かりの危険性?

Flight Paths(飛行経路)

- 各経路における障害物、現状の風の情報、予想される風の流れと乱気流の影響は？
(各経路:アプローチ(代替えアプローチ含む)、出発、ゴーアラウンド、継続飛行、経路後方エリア)
- 推奨される飛行経路は真っ直ぐか？それとも曲がっているのか？
- 目的地は？
- 標準的な騒音軽減手順、航空機の最低限の性能、機器の要件は？

このリストは、初回である/馴染みのない着陸場所への飛行計画の準備について、表面をなぞっただけであり、利用可能な飛行計画リソースをすべて活用してください。

(まとめ)

- アプローチを開始する前に、すべてのハザードを特定し検証するため、確実に偵察を行うこと。
- アプローチ中は、すべてが安全であることを確認/再確認する為に、リスク認識と分析を継続すること。
- 飛行前の個人的な下調べによる状況認識、着陸前の確認により、より高い安全基準で飛行すること。
- 適用される法律、規制、ポリシー、手順を遵守すること。

(関連資料として)

下記のリーフレット*で、フィールド外着陸地点の運用に関連する内容が取り上げられています。

主なトピックとして

- 計画と準備
- 着陸地点の識別
- 着陸地点の上空飛行
- アプローチの種類
- 着陸地点での操縦
- 出発
- パイロットエラー

(リーフレット*EHEST Leaflet HE3 Helicopter Off Airfield Landing Sites Operations)

これらの貴重な情報が、皆様の安全飛行に寄与することを願っております。

各種取り組みや安全情報等のご依頼やご質問等がございましたら、担当者までご連絡をお願い致します。

(担当者：エクスターナル・セーフティ・オフィサー：竹内(078-306-4476))



ご意見募集中

Newsletterに関する皆様のご意見をぜひお聞かせください。
良かった記事、悪かった記事、今後のご要望など何でもけっこうです。
以下のアドレスまで(または受信されたメールに「返信」にて)お送りください。
ご意見お待ちしております。

information.ahj@airbus.com 編集担当者宛